

## 滋賀県立文化産業交流会館の施設および沿革

- 1 所在地 米原市下多良二丁目 137 ※JR米原駅西口から徒歩7分
- 2 開館日 昭和63年(1988年)4月22日
- 3 施設等

- ・イベントホール(2,074席 アリーナ 1,396㎡(36.0m×38.8m))
- ・小劇場(203席、親子席4席 246㎡)
- ・練習室 1. 2
- ・パスポートセンター
- ・レストラン
- ・会議室 1. 2(2階)
- ・文化教室 1.2.3.和室 1(3階) ※「びわこ文化センター」として昭和63年6月7日から開設
- ・SOHOビジネスオフィス(4階) ※平成14年6月1日から開設(平成13年10月31日までは特別会議室)
- ・会議室 3.4.5(5階) ※平成20年4月1日から(平成20年3月31日までは応接室)

なお、「滋賀県レイカディア大学米原校」(2階)は、令和4年10月1日彦根キャンパスに移転(同校は文化産業交流会館に「滋賀県老人大学校米原校」として昭和63年10月13日開校、平成5年10月1日「滋賀県レイカディア大学」に改称)



開館当時の文産会館(S63.4.22)



アルペンホールと  
ウイナワルトのつどい(S63.4.29)



しが産業フェスティバル  
(S63.9.23~25)

## 4 沿革

昭和57年(1982年)6月に県東北部定住圏構想の実現に結びつけた施設を検討する「米原駅西口公共施設整備構想検討委員会」を長浜県事務所内に設置。昭和59年(1984年)度に建築構想が固まり、昭和61年(1986年)5月に本県の文化の向上と産業の振興のための県域拠点施設として県東北部地域の活性化を図ることを目的に着工、昭和63年(1988年)4月、「県立文化産業交流会館」として開館。

- ・昭和61年(1986年)5月20日 建設工事着工
- ・昭和62年(1987年)11月24日 (仮称)滋賀県立カルチャーセンター定礎式挙行
- ・ " 12月23日 施設の名称を「滋賀県立文化産業交流会館」に決定
- ・昭和63年(1988年)1月9日 竣工
- ・ " 4月22日 開館記念式典挙行
- ・平成2年(1990年)11月25日 「ミュージック・フェスティバル クラシックコンサート」開始  
※平成3年度まで
- ・平成4年(1992年)11月15日 「ぶんさん県民クラシックコンサート」開始※平成15年度まで
- ・平成6年(1994年)10月10日 「翔んでる湖国の音楽家たち」開始※平成9年度まで

- ・平成 14 年(2002 年) 1 月 6 日 マルチメディア利用体験コーナー開設※平成 19 年度まで
- ・ " " 6 月 1 日 SOHO ビジネスオフィス開設
- ・平成 16 年(2004 年)12 月 12 日 「フィールドアート」開始
- ・平成 17 年(2005 年) 2 月 13・27 日 「ザ・ファーストリサイタル」開始※令和4年度まで
- ・平成 18 年(2006 年) 4 月 1 日 公共ホール(旧・県立文化芸術会館)支援事業開始  
※平成 20 年度まで
- ・平成 23 年(2011 年) 8 月 6・7 日  
イベントホール内特設舞台 芝居小屋「長栄座」柿落とし納涼公演
- ・平成 29 年(2017 年) 4 月 1 日  
指定管理者として、旧・(公財)びわ湖ホールと旧・(公財)滋賀県文化振興事業団の文化芸術部門の統合により、(公財)びわ湖芸術文化財団に。同財団が文化産業交流会館を管理運営。
- ・平成 30 年(2018 年) 7 月 21 日  
開館 30 周年記念事業として「松竹大歌舞伎」を芝居小屋「長栄座」にて開催
- ・令和 2 年(2020 年) 8 月 1 日 「びわ湖ミュージックフォレスト」開始
- ・令和 4 年(2022 年) 1 月 18 日  
関西で唯一、邦楽の専門課程を有する大阪音楽大学と連携・協力協定を締結
- ・令和 4 年(2022 年) 1 月 21 日 令和3年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞

5 開館からの来館者数  
延べ 約 800 万人

□ 開館 35 周年記念ロゴマーク



□ シンボルマーク(昭和 63 年(1988 年)制定)



- ① コミュニケーションの「C」が組み合わされ、一種の巴模様をなし、スパイラル状に回転しながら上昇(発展)し、未来へ向かってエネルギーに躍動する意味を醸し出している。
- ② 円を中心に、三つの羽根が一對となってダイナミックに回転しながら成長する姿で、文化と産業がお互いにバランスを保ちながら発展する状態をイメージしている。